

自治会美化防犯委員会 8期（2016年度）振り返り

●美化防犯活動運営の安定化のため、美化防犯委員会の設立。

・活動手順書を作成し、適宜委員会メンバーで読み合わせをし、習熟メンバーのすそ野を広げた。

・クリーンコミュニティだけでなく、交通安全、防犯、地区会議、地区清掃など、活動の広がりがはかった。

●クリーンコミュニティ

・開催数： 7期の5回開催から、8期は6回に増加させ、また、住民の方の要望により日程を定例化した。隔月第一日曜日。

・参加人数： 8期は天候の影響等を除けば100名超が常態化（4期平均20名、5-6期平均50名、7期平均115名）

・ごみ収集量： 7期平均8月70L x 19袋、8期70L x 14.5袋（雨天の4月を除く。）

・事前告知：ポスター早期掲示やEV内掲示（分譲棟）、EV内スクリーンでの告知（賃貸棟）、FacebookやWebでの告知、ピーコック内告知、バグズバーによるTwitter告知

・活動報告：写真撮影とウェブサイトギャラリー掲載（4月）

・周辺地域町会や、近隣住民、近隣企業： アイランド外から平均10名の参加が常態化。

・港区や公共団体との協力：7期からスタートした港区からの用具レンタル、受け渡しのあいふら代りが、スムーズに。

●島祭りでの初のブース参加。東京都治安対策本部及び警察と共同で自転車シミュレーター交通安全教室を開催。

・参加者のべ数 81名。保護者が見守る中、未就学児及び小学生が多数チャレンジし、自転車の安全な乗り方意識の向上が図られた。

・ブース前に美化防犯委員会の活動を捉えた写真を展示して活動をアピールするとともに、三田警察署の応援を得て振り込め詐欺やひったくり被害防止の啓発活動を展開。ひったくり被害防止器材「くるみちゃん」など人気グッズが早々に品切れするなど、住民の関心を引いた。

・三田警察署からミニパトの展示協力（雨のため、白バイの展示は見合わせ）

●春秋の交通安全週間芝浦小学校横断歩道歩哨： 8期は毎日2-4名参加で、春秋各のべ17名。

●地区安全美化協会活動や会議：平日昼間ではあるが、少なくとも自治会から1名は参加できるようになった。会議の報告や資料配布も、委員会や役員会などでおこなっている。

●**地域安全活動**：警察が開催する、地域安全・交通安全活動等へも、自治会から参加。

●**芝浦3・4丁目町会清掃活動(月1回)**：8期は毎回3-5名参加。

●**芝浦3・4丁目町会青パト防犯パトロール(月2回)**：8期は、コンスタントに、各5名以上参加。